

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを簡条書で)

項 目	根拠となる計画・指針等
・市民の健康保持のため現行診療体制の維持継続と持続可能な病院経営のため経営健全化の着実な推進 ・今後の病院のあり方についての検討	・市立美唄病院改革プラン ・市立美唄病院経営健全化計画 ・地域医療体制の在り方検討委員会の意見

2 部の経営資源

(平成24年4月1日現在。予算規模は平成24年度予算書から集計)

部の構成 次長 (総務・医事グループ)

職員数		予算規模 (単位：千円)					
		病院事業会計		内関係職員費		公債費	
正規	77 人	1,428,448	0	0	0	0	0
嘱託	24 人	893,323	0	0	0	0	0
臨時	37 人	0	0	0	0	0	0
計	138 人	計 1,428,448	計 0	計 0	計 0	計 0	合計 1,428,448

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に簡条書で)

①病院改革プラン及び経営健全化計画の推進
②病院改革プラン及び経営健全化計画の点検評価、公表
③医療スタッフの確保 (内科医師及び看護師等の確保) ・看護師等修学資金制度については継続検討。
④医療機器等の整備
⑤信頼される病院づくりのための事業 ・病院情報の発信 ・院内ワークショップ活動 ・市民意見の集約
⑥今後の病院のあり方についての検討 ・地域医療体制の在り方検討委員会の意見等を踏まえて、保健福祉部をはじめ関係機関等と対応

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン前期基本計画から選択)

指標名	現状値 (H22決算)	H24目標値	備 考
経常収支比率	88.2%	102.4%	
職員給与比率	66.3%	62.7%	
病床利用率	70.7%	76.6%	
医療収支比率	75.4%	94.6%	
不良債務比率	126.9%	104.6%	

5 事務事業インデックスI 期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
331	市立美唄病院事業	・市立美唄病院改革プランの推進 (H21.1策定) ・市立美唄病院経営健全化計画の推進 (H22.3策定)

6 年間スケジュール (3に記載した事項)

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①改革プラン、健全化計画推進	★ 進行管理					★ 国へ健全化計画実施状況報告を提出						
②改革プラン、健全化計画点検評価表の作成と公表		決算終了後点検評価表の作成	★						★ 公表 (モデルイヤー)			
③医療スタッフの確保	★ 通年 (正規及び嘱託職員について、看護師正規1名ー4月、嘱託3名 [正看2名ー8月・12月・准看1名ー12月]、放射線技師1名ー4月)											
④医療機器等の整備	★ 必要に応じて対応 (主な機器について、レントゲン画像処理ユニットー10月、内視鏡・画像記録装置ー10月、透析用監視装置2台ー11月)											
⑤信頼される病院づくりのための事業	★ ・病院トピックスの発行 (4・6・8・10・12月発行) ★ 院内ワークショップの開催 (6回) ★ ・市民意見の集約 (1回)											
⑥今後の病院のあり方についての検討	★ 保健福祉部との連携により検討 (地域医療庁内推進会議の開催等)								★ 12月3日 基幹的病院としての位置づけを決定 病院の規模・機能、経営形態等について調査検討			

平成24年度 消防本部 運営方針

H24.12.26
経営会議資料1
(消防本部)

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを簡条書で)

項 目	根拠となる計画・指針等
消防の使命は、市民と連携を図り災害の低減を目指すとともに、災害発生時には24時間体制という組織力をもって迅速・確実に対応し災害を最小限に抑え、まちづくりの基本である「市民生活の安全と安心」を確保することです	・「安全と安心なまちづくり」のための消防体制の充実 ・地域に根ざした火災予防の推進 ・迅速・的確な災害対応の推進

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に簡条書で。)

- ・防火・防災意識の向上
- ・防火対象物等の査察の充実
- ・住宅用火災警報器の設置促進
- ・各種災害への対応力の強化
- ・救急業務の高度化
- 救急救命士研修・実習
- ・消防施設・車両・装備の充実強化
- ① 消防水利整備事業
- ② 消防通信指令施設整備事業
- ・消防団の充実強化
- ・消防救急無線のデジタル化

2 部の経営資源

(平成24年4月1日現在。予算規模は平成24年度予算書から集計)

部の構成 総務課・予防課・警防課・救急課

職員数		予算規模 (単位：千円)					
正規	46 人	一般会計	149,068	会計	0	会計	0
嘱託	4 人	関係職員費	359,168	関係職員費	0	関係職員費	0
臨時	人	公債費	0	公債費	0	公債費	0
計	50 人	計	508,236	計	0	計	0
計						合計	508,236

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン前期基本計画から選択)

指標名	現状値 (H22決算)	H24目標値	備 考
火災による死傷者数	2人	0人	
住宅用火災警報器設置率	46.4%	100.0%	
消防水利の充足率	88.7%	90.0%	
救急救命士配置数	12人	14人	
救急講習会受講者数	857人	1,000人	

5 自立推進計画実施事項

No.	実施項目	実施内容

6 年間スケジュール (3に記載した事項)

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
火災予防の周知徹底	★一般住宅立ち入り検査	★防火訓練・避難訓練・広報					★一般住宅立ち入り検査	防火訓練・避難訓練・広報				
住宅用火災警報器の設置促進	★一般住宅立ち入り検査	★消防・ホームセンター等					★一般住宅立ち入り検査	消防・ホームセンター等				
防火対象物等の査察	防火対象物・危険物施設査察											
消防隊の活動力の向上	実践に即した訓練・研修											
消防職員の育成	初任研修 体力維持・向上 安全管理研修	★救助入校	★しご自動車入校		★火災調査入校	★警防科入校			★危険物科入校	予防査察科入校		
救急講習会の実施	救急講習							★薬剤投与講習入校				
救急業務の高度化	救急救命士研修・実習			★薬剤投与講習入校	★気管挿管再講習						★気管挿管再講習	
消防施設・車両・装備の充実			通信指令施設整備	★防火水槽改修			★消火栓整備					
消防団の充実	★学科教育 団員募集	★現地教育訓練	★消防演習	★防災訓練						出初式	消防団員幹部課程	
消防救急無線のデジタル化	整備計画											